對馬新聞

毎月6 12 18 24 30日發行
購讀料 一ケ月郵送料共 金參拾圓
長崎縣下豆酘郡嚴原町
發行所 對馬新聞社
（電話二三五番）
發行兼編輯人 印刷人 齋藤卓人
長崎縣下豆酘郡嚴原町
印刷所 對馬新聞印刷所

# 總町村組合會

## 管理者に平原支廳長

### 議長に吉田佐須村長當選

對馬總町村組合會は十五、十六兩日嚴原八幡宮社務所で開會、町村長、組合議員二十五名が出席、辭意を表明していた、組合管理者寺山齊氏の辭表を滿場一致で承認し、後任管理者選擧の結果、平原支廳長一票、長久田村長六票、石塚慶雲氏四票、江口嚴原町長二票、柚谷鶏知村長一票、白票一で平原支廳長が當選した、次いで組合會議長（久田村長）武末豊崎村長、島井峰村長一票で吉田村長が議長に當選、引續き副議長の選擧を行つた結果、浦瀬船越村長が當選した

私は議長として不適任であるとは思つたが轉縣問題についての關係も有り引受けたのであるが、轉縣問題もはかゝしく進まぬ現狀にあり、なお今回の管理者の選擧は私としては全く意外で地方自治の行きかたから今更支廳長の擔ぎだしに疑問を持つ

私は平原個人に反對ではないが支廳長を管理者に持つて行く理念に絶對反對で斷じて議長としての職に留まり得ない

と述べ、滿場一致辭表を承認し議長選擧の結果、吉田佐須村長一八票、石塚慶雲氏三票、武末豊崎村長一票、島井峰村長一票で吉田村長が議長に當選、引續いて副議長の選擧を行つた結果、浦瀬船越村長が當選した

## 組合で申請網

### 事業經營案を決定

河野對馬支廳土木課長説明することに一應意見から縱貫道路計畫について努力をしているが、早急な實現は困難である旨の説明があり、次いで組合會から漁業計畫について説明のため出席を求められた瀬久男氏の提案により總町村組合で申請網三統の權利を取得し適當な業者に委託經營せしめて莫大な利益を得るとゝもに不正漁業の防止に

究のため準備委員とし一致し、これが調査研

## 嚴原中學建設に

### 五百萬圓の貯蓄割當て

嚴原中學校の建設については七日の町議會で五百萬圓の起債に對しては同額の六、三制貯金の裏附けを要するのうち四百八萬圓を國庫補助に五百萬圓を起債

に俟つことゝなつたが、三制貯金の裏附けを要するので、町では十七日警防團二階で町議、中學建設期成會および嚴原郵便局關係との貯蓄達成協議會を開き、一年將屆定額貯金五百萬圓の各區別割當を決定、全町

區別の貯蓄割當は左の通り（單位萬圓）

△久田道三四△國分一〇〇△大手橋八〇△今屋敷一〇〇△田淵四三△天道茂一九△中村二二△日吉二七△宮谷二六△樋原七〇△阿須一三△南室四△小浦一三

## 給與費は土木費で支出

總町村組合の二十三年度更正豫算案六萬九千六百八十圓の給與費はその財源を組合所有林野の處分によらず、土木費からの費目更正に求めることに決定通過した

## 轉縣期成會の正副會長を改選

### 友納氏リコールは中止

十五日の總町村組合會長に酒井嘉氏（鶏知町）と藤久男氏（對馬水産連合會長）が當選した

では對馬の轉縣問題については獨立の問題として論議され昨年來行悩みとなつている友納縣議のリコールについては町村長、議員の意見が一致せず實際問題として困難なリコールは行わず、轉縣期成會長による久田村長の辭意表明を機として期成會の陣容を一新し、さらに活潑な轉縣運動を行うことに決定、期成會正副會長を改選の結果、新會長に石塚氏、副會

選出組合議員）と藤久男氏（對馬水産連合會長）が當選した

## 對馬野球連盟生る

### 會長に支廳長

勃興する野球熱にこたえ嚴原體育協會の野球部を獨立すべくかねて有志間に計畫されていたが、十八日夜瀬川利男氏宅で嚴原各チーム代表十餘名が參集協議の結果對馬野球連盟を設立、會長に平原支廳

## 對馬高校の設備充足

### 計畫を説明

對馬高等學校設備充足計畫について高等學校側から西部長、橋書記が出席し學校側の計畫による四百九十六萬圓の經費見積りなどについて説明があつたが、學校側で計畫を練直し改めて次期組合會議に上程されることになつた

## 次回組合會は比田勝で

最後に武末豊崎町長が總町の組合會議で次回の會議は比田勝で開催されることに決定したのに實施されていない次回三月の組合會議は比田勝で開催することを再確認されたいとの發言があり、滿場異議なく承認された

## 町村長會長に

### 江口嚴原町長

十六日總町村組合會議終了後組織所で町村長比田勝で開催し寺山齊氏の後任として對馬町村長會長に江口嚴原町長を決定した

## 地代家賃引上げ

### 統制價格より安い

昨年十二月二十三日物價廳令によつて大幅に引上げられた地代、家賃についての説明會が去る十一日嚴原小學校で開催されたが、今回改正された地代、家賃の新基準による算出の一例をあげれば左の通りである

一、嚴原幼稚園の敷地八十五坪の地代は二十一年九月三十日の屆出價格では年間三十圓であるが十六倍に近い四百八十圓になる

二、嚴原町今屋敷の專賣局出張所は坂地五十坪、建坪延百坪で二十一年九月三十日の屆出では月額二十圓であつたが倉庫を除き家賃相當額は月一千百八十圓餘となる

右の通り地代、家賃はヤミ物價の横行する世相にあつて統制價格よりはるかに安いと言う現象を呈しているが、改正された地代、家賃の引上げは必至と見られる

## 對馬商工會議所

### 來月四日設立總會

對馬商工會議所は昨年十一月商工省から設立を認可されたゝになつているが、江口嚴原町長の主宰により十六日町役場で設立促進の協議會を開いた結果、來る三月四日八幡宮社務所で設立總會を開くことに決定した、商工會議所は商工業に關する調査、研究その他會員の福利增進をはかるもので對馬では特に農林、水産部門をも包含することになつており設立準備委員側では總會に全島の商工業、農林、水産業者の多數出席を希望している、なお初代の會頭には嚴原町太田傳三郎氏が有力であるが同氏は老く病弱のため會頭就任を固辞し、岩佐清氏を推し

長、副會長に瀬川利男、竹内重夫の兩氏を推薦、全島のチームに呼びかけ强力な野球連盟

の母體たらしめることとなつたが、四月中に對馬高校グラウンドで全島大會を開く

## 恩師平山壽海老と奥さん達の講演、茶話會

嚴原町眞宗の名さつ光清寺住職平山壽海氏は今年八十一歳の高齢を迎え、隠居の餘生を樂しんでいるが、熊本の第五高等學校を卒業後明治四十二年對馬女學校創立以來二十年間教べんをとつた平山先生の遺恩をしのび講話を聴く會が、教え子、嚴原町永留弘氏夫人千世子さん、勇繼信一氏大人往江さんらの發起により、十九日午後一時半から光清寺で開かれた一數人の子供や孫までで出來ている四、五十歳年輩の舊生徒達に、嚴原ちやさ婦人會の幹部も加わり約三十名のべんをとつた平山先生の奥さんが出席、永留夫人の挨拶があり、茶話會となつた老くをイスにもせず平山翁は当た逢事一認めた思

## 嚴原校で研究發表會

嚴原小學校は社會科と體育科の實驗學校として委託を受けているが來る二十二日社會科阿比留教官、體育科平間教官の研究發表會を、

## 佐須村に支局設置

今船本就佐須村通信部を支局に昇格し、通信の擴充をはかるとゝもに、同村一圓の購読料集金も支局において行うことゝ致しましたので今後郵信および集金事務の連絡は同支局に願います

對馬新聞社佐須村支局

支局長 三山忠

佐須村下原

電話 小茂田）二二番

## 嚴原校で研究發表會

嚴原小學校は社會科と體育科の實驗學校として委託を受けているが來る二十二日社會科阿比留教官、體育科平間教官の研究發表會を、重要存在たらしめたいものだ

## 速合軍總司令部政治部地方政治課

### 地方自治のはなし

附錄（改正地方自治法 地方自治施行令）

定價 百五十圓（郵送料十五圓）

福岡市藥院百濱町

發行所 公務圖書出版協會

取次 對馬新聞社

## 廣告

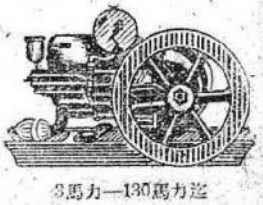
對馬總町村組合の管理者に平原支廳長が擔ぎ出された◇總町村組合の管理者は組合設立以來支廳長を充當する規約となり町村當惑者たる支廳長と被監督者たる組合管理者の兼務に矛盾を感じながらも數十年來の慣行となり歴代支廳長の出張旅費は殆んど組合から支出されていたものだ◇ところが戰時中に支廳長の管理者兼務を不當とする意見が强くなり、對馬のムツソリーニ的存在であつた長信學氏（前久田村長）が初めての民間管理者となり寺山氏に引繼いで今日に至つた◇町村自治の理想から云えば支廳長の管理者選任は時代逆行だが、さて全島町村の連合體たる組合の代表者となれば民間になかゝ適任者を得られないところに悩みがあり、島内および縣當局との連絡に最も都合のよい支廳長を…ということになる◇總町村組合を名實共に對馬の代表的機關とし、その管理者を民選支廳長的なものだ

また二十三日助教再教育講習會を開催する

發行日臨時變更 本號は發行日十八日附を二十日附に變更しました なお次回發行日二十四日は二十七日に變更いたします

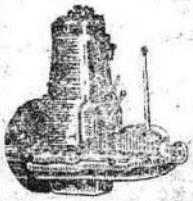
ヤンマー純デーゼル

陸用デーゼル



3馬力—130馬力迄

船用デーゼル



3馬力—14馬力迄

1 燃料費僅少（石油 廢油 エンヂンの1/4ですみます）
2 取扱簡便（御婦人子供さんでも充分御使用できます）
3 耐久力强大（特殊高級材料を使用してあります）
4 ボーリング不要（ライナー式で簡單に取換へられます）

四大特長

在庫即納

福岡市矢倉門三五（博多驛前）

山岡支店 福内燃機

電話東⑨0178、1108番